

# REDLINE (2010)

**メディア** 映画 アニメ  
**ジャンル** アクション S F  
**製作国** 日本  
**色彩** Color  
**時間** 102分  
**初公開日** 2010/10/09  
**公開情報** 東北新社  
**映倫** G  
**リバイバル** 2021/02/26 [SPOTTED PRODUCTIONS=GASTONIA]

## 【キャッチコピー】

限界を超える

## 【解説】

「鮫肌男と桃尻女」の石井克人監督の原作を、「PARTY7」「茶の味」ではアニメ・パートの演出を手掛けた「アニマトリックス ワールド・レコード」の小池健監督で映画化したマッドハウス制作のSFアクション・アニメ。遠い未来を舞台に、宇宙最速を決めるカーレース<REDLINE>で繰り広げられるルール無用の高速バトルの行方を、手描きにこだわった躍動感溢れる映像で描き出していく。声の出演は木村拓哉、蒼井優、浅野忠信。

はるか未来。抜群のドライビング・テクニックで草レースではほとんど負けなしのレーサー、JP。しかし、武器使用も認められている勝負の世界で、あくまで速さだけで戦い続けるJPのバカ正直な姿は、ともすれば揶揄の対象ともなっていた。そんな彼の憧れは、天才女性ドライバーのソノシー。いつか彼女を振り向かせたいと願いながらも、見た目に似合わぬシャイな純情ぶりで、ただ走りのみで己をアピールすることしかできずにいた。そんな中、宇宙最速を決める5年に一度の祭典<REDLINE>の予選に出場したJPだったが、相棒のメカニックの裏切りもあり本戦出場を逃してしまう。ところが、今回の開催地が悪名高い“ロボワールド”に決まることから、出場を辞退する者が現われ、代わりにファン投票で選ばれたJPに千載一遇のチャンスが巡ってくるのだが…。

## 【クレジット】

<b>監督</b>	小池健
<b>アニメーション制作</b>	マッドハウス
<b>製作</b>	二宮清隆
<b>企画</b>	丸山正雄
<b>エグゼクティブプロデューサー</b>	福島正浩
<b>プロデューサー</b>	吉田健太郎 小池由紀子
<b>原作</b>	石井克人
<b>脚本</b>	石井克人 榎戸洋司 櫻井圭記
<b>撮影監督</b>	滝澤竜
<b>特殊効果</b>	谷口久美子
<b>色彩設計</b>	小針裕子
<b>音響監督</b>	石井克人

音響効果	清水洋史
音楽	坂本典之
整音	ジェイムス下地
声の出演	丸井庸男
	木村拓哉 J P
	蒼井優 ソノシー
	浅野忠信 Tadanobu Asano フリスビー
	我修院達也 リンチマン
	津田寛治 トラヴァ
AKEMI	AKEMI ボスボス
	岡田義徳 ジョニーボーヤ
	森下能幸 シンカイ
	青野武 もぐらオヤジ
	石塚運昇 ボルトン大佐
	石井康嗣 マシンヘッド鉄二
	堀内賢雄 タイタン国防長官
	廣田行生 ロボワールド大統領
	三宅健太 ディズナ弟
	チヨー イヌキ組長